

平成22年度 藤枝市の家計簿

～元気なまち藤枝づくりが着実に進んでいます～

◎財政課 ☎643・3111 内線352

平成22年度に市民みなさんに納めていただいた税金は、よりよい市民生活を実現するために、さまざまな形で使用しました。税金の使い道などを市民みなさんに知っていただくために、毎年2回「広報ふじえだ」で市の財政状況を公表しています。今回は、市議会9月定例会で認定された平成22年度の決算をお知らせします。

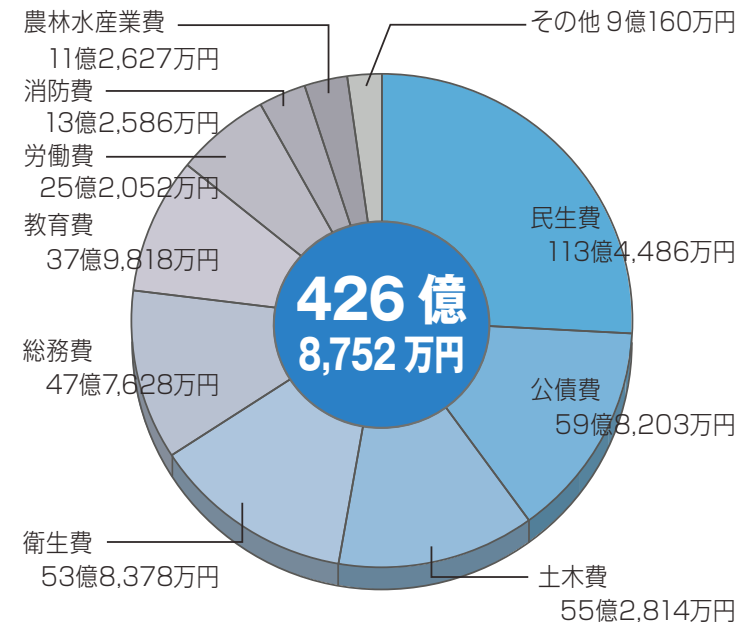
市民一人あたりに換算すると…

年間市税収入額
140,782円

市民税	固定資産税	都市計画税	市たばこ税	軽自動車税	その他(入湯税など)
62,385円	62,747円	9,077円	4,707円	1,865円	1円

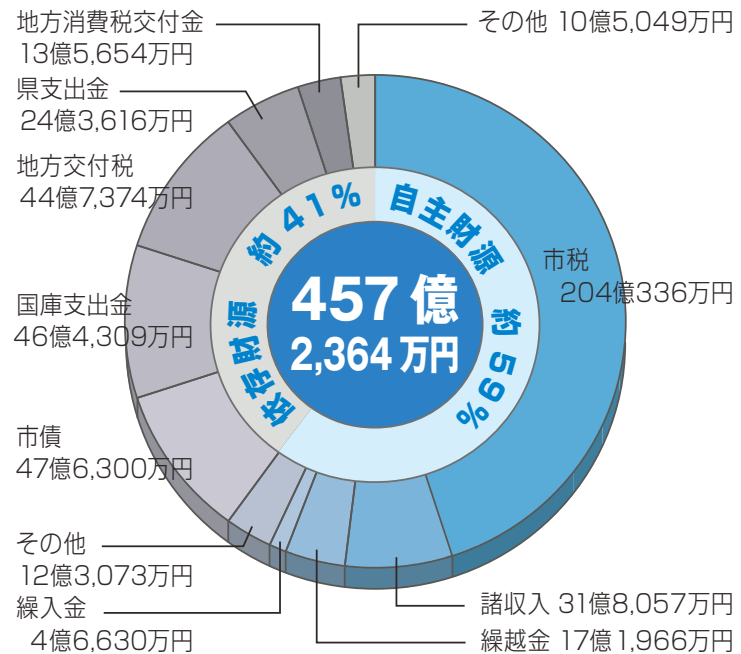
年間支出額
294,541円

→国・県の補助金を活用するなどして、市税収入より多額の行政サービス(支出)を提供しました。
※平成23年3月31日現在の人口(144,929人・外国人含む)で計算。



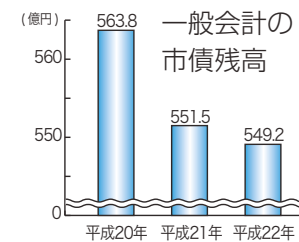
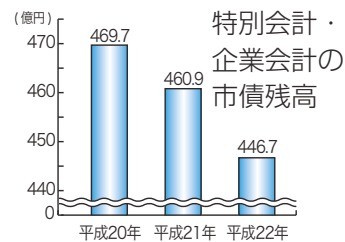
歳出(市の支出)は、21年度と比べて、全体で約9億円(2.1%)増加しました。主な要因としては、子ども手当の創設による約22億円の支出増が挙げられます。また、定額給付金給付事業が終了したため、約11億円分の支出が減少しました。

**支出は
21年度より約9億円増**



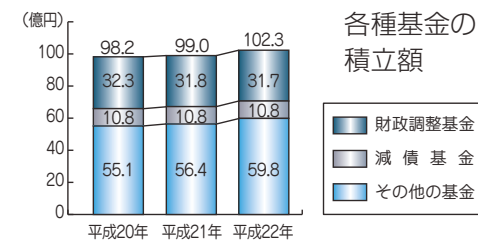
歳入(市の収入)は、21年度と比べて全体で約22億円(5.0%)増加しました。主な要因としては、国から交付される地方交付税が約8億円増加したことが挙げられます。さらに地方交付税の代わりに臨時財政対策債による収入が約8億円増えたためです。

**収入は
21年度より約22億円増**



市債(借金)残高は2年連続で減少

道路整備などのために借りたお金の残高は減少。平成27年度末までに、すべての会計における市債残高の合計を、平成22年度末から約6.9%、金額で約69億円減らすことを目標にしています。



効果的な事業展開に向け基金(貯金)を積み立て

市の事業を効果的・効率的に進めていくためにいくつかの基金を積み立てています。例えば、市民会館などの文化施設を整備するために、「総合文化施設整備基金」を積み立てています。

〈財政用語解説〉

歳入

【地方交付税】 地方の財政格差を無くすため、国から交付されるお金

【臨時財政対策債】 地方交付税の代わりに国などから借りるお金。借りた全額が後に国から交付されます

【自主財源】 市税や市の施設の使用料など、市が独自で調達できるお金

【市税】 市民税や固定資産税など

【諸収入】 貸付金の元利収入など

【繰越金】 前年度の余剰金で翌年度に持ち越されたお金

【自主財源のその他】 公共施設の使用料、各種手数料、財産収入、寄附金など

【依存財源】 地方交付税や国・県支出金など国や県から市に入ってくるお金

【市債】 道路や公共施設を整備するために、国や銀行から借りるお金

【国庫支出金・県支出金】 市の特定の事業に、財源として国や県が支出するお金

【地方消費税交付金】 消費税5%のうち1%が地方消費税です。一定の基準により

国から配分されます

【依存財源のその他】 地方譲与税、地方特例交付金、自動車取得税交付金など

【民生費】 高齢者・障害者・児童福祉などの経費

【公債費】 市の借金などの返済経費

【土木費】 道路や公園などの建設・維持管理などの経費

【衛生費】 ごみ・し尿処理、予防接種、健康診断などの経費

【総務費】 総務管理や企画・税務事務などの経費

【教育費】 学校や公民館などの改築・維持管理などの経費

【労働費】 労働対策などの経費

【消防費】 消火・救急活動などの経費

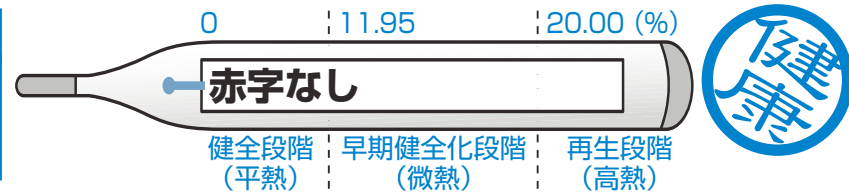
【農林水産業費】 農林業の振興などの経費

【その他】 議会費、商工費、諸支出金、災害復旧費など

藤枝市の財政健康診断結果

① 実質赤字比率

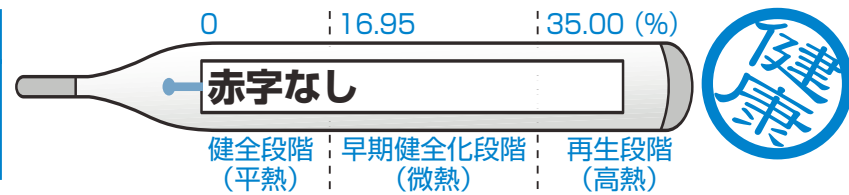
一般会計に土地取得特別会計を加えた普通会計の赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化度合いを示すものです。



→藤枝市は、すべての会計が黒字なので、該当はなしじゃ。

② 連結実質赤字比率

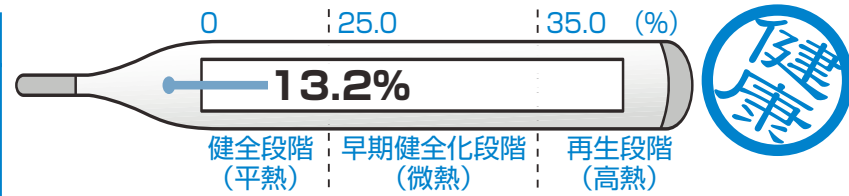
市のすべての会計の赤字や黒字を合算し、市全体の財政運営の悪化度合いを示すものです。



→藤枝市は、すべての会計が黒字なので、該当はなしじゃ。

③ 実質公債費比率

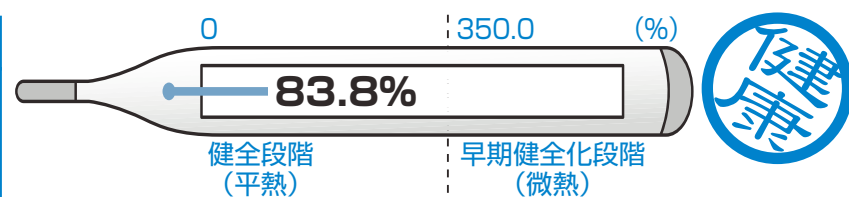
借入金の返済にかかる負担の重さを示す指標で、市のすべての会計と一部事務組合（志太広域事務組合など）が対象となります。



→藤枝市は、平成21年度（14.4%）と比較して、1.2%改善しとる。志太広域事務組合などへの公債費相当繰出額の減少が要因じゃ。

④ 将来負担比率

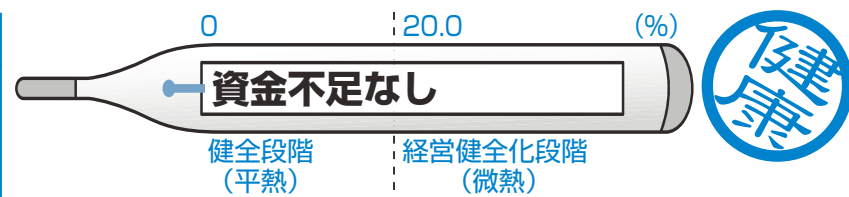
市のすべての会計の借入金や将来払っていく可能性のある負担など、現時点での残高を指標化し、財政への圧迫度を表すものです。



→藤枝市は、平成21年度（95.1%）に比べ、11.3%改善しとる。改善の主な要因は、借入残高の減少や、職員数減に伴う退職手当見込額の減少じゃ。

⑤ 資金不足比率

公営企業会計と簡易水道・公共下水道・農業集落排水事業の3つの特別会計の資金不足額の事業規模に対する比率で、経営状況の悪化度合いを示すものです。



→藤枝市は、5つの事業会計すべてで資金不足は見受けられん。該当なしじゃ。

公営企業会計決算額

独立採算が原則の公営企業会計は、自らの収入だけで経理を賄う会計です。

本市には2つの公営企業会計があります。

病院事業会計

区分	決算額	備考
病院事業収益	130億2,788万円	経常収支
病院事業費用	134億5,488万円	
資本的収入	9億 531万円	企業債など
資本的支出	13億2,865万円	建設改良費など

水道事業会計

区分	決算額	備考
水道事業収益	23億 960万円	経常収支
水道事業費用	20億3,517万円	
資本的収入	4億9,377万円	企業債など
資本的支出	13億4,899万円	建設改良費など

特別会計決算額

特定の事業を行うための特別会計は、一般会計とは別に収支を行う会計です。

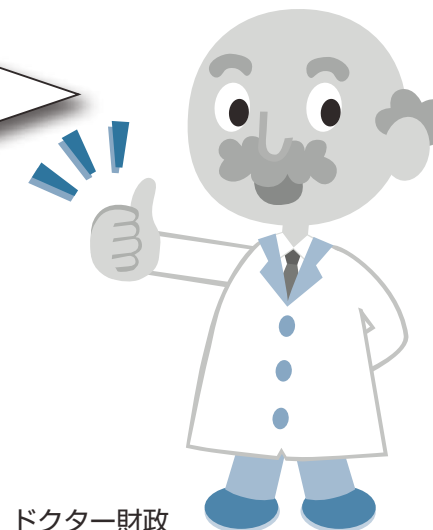
本市には9つの特別会計があります。

特別会計	収入額		差引額
	支出額		
国民健康保険事業	126億5,852万円	125億5,888万円	9,964万円
簡易水道事業	7,349万円	7,349万円	0円
土地取得	297万円	297万円	0円
公共下水道事業	30億4,833万円	30億4,783万円	50万円
駐車場事業	2,789万円	2,789万円	0円
老人保健	252万円	252万円	0円
農業集落排水事業	9,057万円	9,057万円	0円
介護保険	81億1,982万円	81億1,107万円	875万円
後期高齢者医療	11億7,047万円	11億2,762万円	4,285万円

※老人保健特別会計は、平成22年度で廃止です。

ドクター、藤枝市の財政状況ってどうなの？

藤枝市の財政は健康そのもの。まさに「元気なまち藤枝」じゃ。詳しくは左ページで説明しよう。



ドクター財政

藤枝市の財政状況を、地方公共団体の財政状況を判断する5つの指標で診断すると、いずれの項目も病気を意味する早期健全化の基準を下回っており、藤枝市の財政は健康そのもの。まさに「元気なまち藤枝」と言える健全な状態じゃ。

藤枝市の財政力指数は【0.867】

財政力指数とは、地方公共団体の自由に使えるお金の割合を示すもので、数値が「1」に近いほど財源に余裕があることを表しています。「1」を超えると財源が十分あり、国からの地方交付税は必要ない団体と位置づけられ、地方交付税は交付されません。